



周南市飯島町1-13 Tel 22-8875 Fax 22-8813

徳山小学校区コミュニティ推進協議会 祝 設立30周年記念



2012.01.29

徳山小学校区コミュニティ推進協議会設立30周年記念式典を終えて

実行委員長 藤原 利之

木村周南市長をはじめ地区内外から二一〇名の参加者を迎えて、一月二十九日(日)ザ・グラマシー大広間で記念式典が盛大に行われた。この日はおりしも三十年前の設立の日であった。当時のコミュニティの礎を築いた先人たちの姿が懐かしく蘇った。昨年の東日本大震災でコミュニティの充実した地域では、住民の生存率が非常に高かったと報道されていた。昨年「絆」という言葉が持てはやされた。これこそコミュニティの生みの親である小川亮元徳山市長の提唱された「自主と連帯」の精神にほかならない。

三十周年記念誌に徳山小五年生児童に「私達の時代には、こんな社会にしたい」と言うメッセージを書いてもらった。次代を担う子ども達の力強いメッセージを読みながら、この子達の時代には、コミュニティ活動は更なる広がり深い繋がりを持つであろうと感じた。

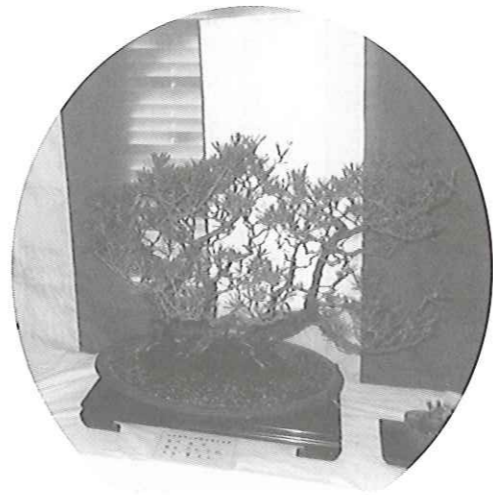
生涯学習推進協議会 管理環境部会の 活動について



理事 大山 政男

平成二十三年度の生涯学習推進協議会管理環境部会は新メンバー七名でスタート。毎月一日を公民館周辺の清掃奉仕・花壇の手入れ等で公民館を利用される皆様が気分良く出入りできる顔として行きたいと願っています。五月には、公民館東側花壇に、ゴーヤ植え付けによる節電効果と収穫で大きな成果を上げることが出来ました。二月は部会の皆さんで、新しい本を選んでみました。二階の文庫をご利用ください。貸し出しもしております。部会の皆様一年間ご苦労さまでした。

人と人をつないだ公民館祭



さずな会 会長 中尾 千恵子

小雪が舞った初日。寒い中での公民館まつりが開催されました。二月十七日・十八日の二日間に亘って、講座生の学習発表会が行なわれました。一年毎に向上されている講座生の皆さんの作品には目を奪われるばかりです。私だったらどの講座に入りたいにしかない作品を作りたいと思われた方も、多くいらしたのではないのでしょうか。又中央地区公民館名物の美味しい「うどん」もあり寒さを吹き飛ばす温かい一杯でした。

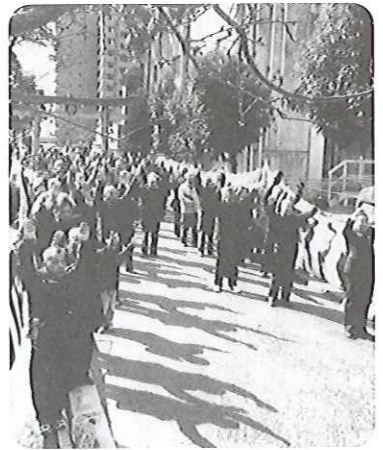
両日「好民館」へ足を運んで下さった約八百人の皆さんで賑わいました。パネル搬入から作品搬出まで、地域・講座生の皆さんとの強い「絆」で結ばれた公民館祭でした。ありがとうございました。

お知らせ

- 4月1日(日)さくら街道祭10時～14時 徳山小学校グラウンド
- コミ30周年記念誌「心歌」(A4版P24) オールカラーの余部がありますので希望者に配布いたします。(1冊500円先着順) 中央地区公民館の窓口へおいで下さい。 TEL 22-8875



建国記念の日奉祝行事



近年にない寒い日が続いておりましたが、二月十一日の建国記念の日は春を思わせる様な好天に恵まれ約百五十人の皆さまが集まれ建国の日をお祝いいたしました。

編集後記

昨年発生した東日本大震災の後コミュニティ(地域共同体)の重要性が見直されています。ここ周南市にも各小学校区単位のコミュニティ推進団体があり、その活動は三十年にもなります。地域の少子高齢化は進んでいます。会社人間として過ごした期間と同じくらいの年月を、定年後地域共同体の一員として共に暮らすようになります。地域特有の風俗習慣、行事を次世代に継承する、その活動の中から生まれる一体感や絆こそがコミュニティ本来の姿だと思います。

編集員 田吹 信一

式典前日の準備を終えて

徳山中央婦人会
木村 ツチノ

コミュニティ三十周年記念式典前日の午後よりおみやげの袋作りの準備を始めました。

婦人会役員約二十名が協力、いつもの様に白いエプロン姿で紙袋を広げる、品物を入れる、名札をつける、各テーブルごとにまとめて紐で括る。簡単なようで二百余りの袋作りは意外と時間がかかる。一番大事な事は最初に数のチェックをすること。

日頃の近藤会長指導のおかげで各役員さん慣れたもの。大変でしたが皆和気あいあい「ちよつと疲れたね」でも思ったより早く終わったね。忙しかったけど最初の段どり通り楽しく袋作りを終わりました。

一声の呼びかけですぐ協力して頂けるチームワークの素晴らしさ、本当にうれしく感謝しています。これからも元気で地域に役立つ婦人会として頑張りたいと思います。



三十周年記念式典で
二百十人が祝う

きずな編集員

住谷 博志

コミュニティとは「地域社会」とも訳されます。自主と連携のもとで地域にあった住みよい街づくり活動を推進していくと言うことです。

式典ではたくさんの方々の祝辞と祝宴、いろいろなアトラクションもあり、特にオープニングで大徳山太鼓回天保存会のエネルギーあふれる鼓動には、設立から三十年間のいろいろな出来事が走馬灯のように駆け巡り、会場に集まった方全員の心が熱く一つになっていたように感じました。

歴史と文化の宝庫である徳山小学校区コミュニティ、設立三十年の歴史が刻まれたものの、これからは次世代への継承と未来につなぐ橋渡しも我々の役目です。



式典を終えて

中央地区民生児童委員

磯部 英子

一月二十九日の佳き日、ザ・グラムシーに於てコミュニティ推進協議会設立三十周年の式典が厳粛かつ盛大に催されました。心よりお祝い申し上げます。

当日はお忙しい中、木村市長を始め地域の発展に功績を残された方々、明るい未来を語った小学生らに力強くも心暖まるメッセージをいただき、私も背筋がピンとはりつめ感動でした。

会も進み会食しながらの舞踊、歌、お花やお米の当る抽選会の頃には各テーブルごとに笑顔と笑顔が交差しました。終りに書家明石慶雲さんの「絆」や中村光子編集長他による冊子「心歌」は今を感じ、元氣と勇氣をもらった感じが致します。

私達民生児童委員も地域のアンテナ役として皆様のお役に立てる様努力してまいりたいと思います。

「三十年の歴史に感謝」

関門地区体育振興会

会長 得重 謙二

平成二十四年一月二十九日(日)に「徳山小学校区コミュニティ推進協議会」の結成三十周年記念式典が開催されました。式典には木村市長をはじめ、二百名を超える地区の各種団体関係者にご列席頂き、多くのご来賓の方々と共に祝うことが出来ました。徳山小学校区は、旧徳山市の中でも特に歴史と伝統がある地区であり、三十年もの長きに渡り、地区の発展と子ども達の育成にご尽力を頂いた諸先輩方には心より敬意と感謝を申し上げます。そして我々世代も諸先輩方の熱き思いと志を受け継ぎ、更なる地区の発展と安心安全を守る為に活動して行く事を改めて決意し、来る四十周年、五十周年を盛大に祝う事が出来る様、邁進して行きたいと思っております。

地域に育てられたことを感謝

中村 光子

徳山小学校区コミュニティ推進協議会三十周年記念式典で、思いがけず表彰を受けた。中体振の一員として、三代の会長のもとで行動をしたが、地域の皆様によって貰ったという思いが強い。人の繋がりが、信頼、子供育成等々、



多くを体験した。小さな行動の積み重なりが、大きな力となることを知ったのは最大の収穫であった。何事も引き際が大事だが、三十周年記念誌作成にも参入出来たことは、身に余る光栄であった。

三十周年記念式典に思う

中央地区体育振興会

徳永 智明

地域社会においてコミュニティを育てていくことは時間が掛かりその成果は見えにくいものだと思います。しかし地域の発展・振興においてコミュニティの果たす役割はとても重要です。この三十周年記念式典を新たな出発点として、子どもたちが望む「あいさつが飛び交う街・笑顔いっぱい」の町が作れる様に、みんなの絆を大切に、してひとりでも多くの方がコミュニティに参加して頂ける様に、皆さんと共に活動していきたいと思っております。

